

申請についての注意事項 及び 応募申請書記入要領

各部門ごとに定められた募集資格・条件を、募集要項で必ずご確認ください。

申請の際は、予めご自身が杏林医学会会員であること(会費納入要)をご確認ください。

【A. 医学部・保健学部共同研究助成金部門】

- ・申請対象となる研究は、助成金申請時において学内外の助成金・奨励金を受けていないことが基本条件となります。申請する研究内容について、過去または現在に助成金・奨励金を受けた研究との類似について疑念を抱かれる場合は、その違いについて明確な説明を、応募申請書(記入例 P2)とは別紙(書式自由)でご提出ください。

【B. 個人研究助成金部門】

- ・申請対象となる研究は、助成金申請時において学内外の助成金・奨励金を受けていないことが基本条件となります。申請する研究内容について、過去または現在に助成金・奨励金を受けた研究との類似について疑念を抱かれる場合は、その違いについて明確な説明を、応募申請書(記入例 P3, 4)とは別紙(書式自由)でご提出ください。
- ・申請者の職種(教育職員または非教育職員)により応募申請書が異なります。
記入例(P3, 4)を参考に、ご記入と必要箇所への記名押印をお願いします。

【C. 研究活動指導助成金部門】

- ・本助成金は、申請者が、指導対象者(医学部・保健学部学生、大学または病院に勤務する研究職・若手医師・メディカルスタッフ)の指導をするための費用を助成することを目的とします。
- ・大学院生の指導及び保健学部学生の卒業研究指導については、申請対象外となります。
- ・申請者の職種(教育職員または非教育職員)により応募申請書が異なります。
記入例(P5, 6)を参考に、ご記入と必要箇所への記名押印をお願いします。
- ・指導対象者については、職種・職位と氏名(学生の場合は学年と氏名)の記載を必ずお願いします。
- ・本助成金を学会参加費・旅費等に使用する場合は、指導対象者欄に記名がある方の費用のみが認められます。旅費の使用にあたっては、職種・職位によっては、予め要望書等の書類をご準備いただき医学部・保健学部事務課に提出する必要がありますのでご注意ください。

【A. B. C. 共通】 応募申請書「杏林医学会への貢献度」欄

- ・①は、申請者本人が、医学会総会の一般口演で発表を行った場合にご記入ください。
医学部・保健学部の研究奨励賞や、医学部共同研究・若手助成金・ユニーク研究賞、医学会の助成金研究報告等の研究成果報告発表については、受賞者に課せられた義務のため、記載対象外となります。
- ・②は、申請者本人が、医学会誌投稿論文掲載がある場合にご記入ください。
- ・③④⑤については、申請者及び共同研究者、所属上長が、論文査読や医学会誌特集企画執筆、市民向け公開講演会の座長・講演にご協力をいただいた場合にご記入ください。

【A.医学部・保健学部共同研究助成金】応募申請書 記入例

申請者：杏林 花子 ㊟ 西暦 1985 年 10 月 15 日生 (38 歳) 所属：医学部眼科学	職位：学内講師 連絡先内線・PHS：25555 Email アドレス：aaaa@ks.kyorin-u.ac.jp	
本申請内容を承認します。※ 申請者が教授職以外の場合、上長の記名押印をお願いします 所属上長名：山田 太郎 ㊟ 所属・職位：医学部眼科学教授		
共同研究者：		
氏名： ふりがな	所属・職位：	
氏名： ふりがな	所属・職位：	
氏名： ふりがな	所属・職位：	
氏名： ふりがな	所属・職位：	
研究課題名(倫理及び動物実験審査承認番号)：		
研究期間：例 2025 年 11 月から 2028 年 11 月 ※原則として 3 年を目途とします		
研究の背景・目的：		
研究内容及び実施計画：		
予測される成果とその意義：		
申請者本人の業績：(過去 3 年間の論文 5 つまで記載)		
助成金申請・受給状況：2024 年以降、申請者が学外・学内において申請中及び支給を受けている助成金のタイトルと金額 ※今回の申請と類似する研究内容で、既に科研費・助成金を受給している場合は、その違いを明確に記載したものを、申請書とは別に(書式自由)PDF データで提出ください		
杏林医学会への貢献度：該当するものについて、()の中に詳細を記入ください。 ①杏林医学会総会一般口演発表(研究発表は除く) (例 第●回総会一般演題発表 等) ②杏林医学会雑誌 投稿論文掲載 (例 ●巻●号原著論文掲載 等) ③杏林医学会雑誌 投稿論文査読 (例 担当経験あり 等) ※詳細は事務局で確認いたします ④杏林医学会雑誌 特集企画執筆 (例 ●巻●号掲載、テーマ 等) ⑤杏林医学会主催市民向け講演会 座長・演者 (例 第●回市民公開フォーラム座長、講演テーマ 等)		
交付申請額(研究費内訳)		
備品費	200,000 円	例 解析用 PC 及び周辺機器購入 等
消耗品	1,200,000 円	例 試薬、実験用マウス購入 等
人件費・謝金	800,000 円	例 データベース管理者雇用 (1500 円/時間) 等
旅費	0 円	例 第●回 ●●学会参加費・旅費 等
通信費	0 円	例 郵送料 等
その他	0 円	具体的な用途を記入ください
交付申請額合計	2,000,000 円	

※ 必要に応じて項目枠を拡張し、両面印刷 2 枚以内を目途に作成してください。

【B.個人研究助成金】応募申請書

記入例: 申請者が教育職員の場合

申請者：杏林 ^{きょうりん} 花子 ^{はなこ} ㊟ 西暦 1985 年 10 月 15 日生 (38 歳) 所属：医学部皮膚科学	職位：講師 連絡先内線・PHS：5555 Email アドレス：aaaa@ks.kyorin-u.ac.jp	
本申請内容を承認します。※申請者が教授以外の場合、記名押印をお願いします		
所属上長名：山田 ^{やまだ} 太郎 ^{たろう} ㊟ 所属・職位：皮膚科学 教授		
研究課題名(倫理及び動物実験審査承認番号)：		
研究期間：例 2025 年 11 月から 2027 年 11 月 ※原則として 2 年を目途とします		
研究の背景・目的：		
研究内容及び実施計画：		
予測される成果とその意義：		
申請者の業績 (過去 3 年間の論文 5 つまで記載)		
助成金申請・受給状況：2024 年以降、申請者が学外・学内において申請中及び支給を受けている助成金のタイトルと金額 ※今回の申請と類似する研究内容で、既に科研費・助成金を受給している場合は、その違いを明確に記載したものを、申請書とは別に(書式自由)PDF データで提出ください		
杏林医学会への貢献度：該当するものについて、()の中に詳細を記入ください。 ①杏林医学会総会一般口演発表(研究発表は除く) (例 第●回総会一般演題発表 等) ②杏林医学会雑誌 投稿論文掲載 (例 ●巻●号原著論文掲載 等) ③杏林医学会雑誌 投稿論文査読 (例 担当経験あり 等) ※詳細は事務局で確認いたします ④杏林医学会雑誌 特集企画執筆 (例 ●巻●号掲載、テーマ 等) ⑤杏林医学会主催市民向け講演会 座長・演者 (例 第●回市民公開フォーラム座長、講演テーマ 等)		
交付申請額 (研究費内訳)		
備品費	100,000 円	例 解析用 PC 及び周辺機器購入 等
消耗品	200,000 円	例 試薬等購入 等
人件費・謝金	0 円	例 データベース管理者雇用 (1500 円/時間) 等
旅費	0 円	例 第●回 ●●学会参加費・旅費 等
通信費	0 円	例 郵送料 等
その他	0 円	具体的な用途を記入ください
交付申請額合計	300,000 円	

※ 必要に応じて項目枠を拡張し、両面印刷 2 枚以内を目途に作成してください。

【B.個人研究助成金】応募申請書 記入例 B: 申請者が教育職員でない場合

申請者：杏林 花子 ⑩ 西暦 1985 年 10 月 15 日生 (38 歳) 所属：医学部皮膚科学	職位：医員 連絡先内線・PHS：5555 Email アドレス：aaaa@ks.kyorin-u.ac.jp
---	--

本申請内容を承認します。※申請者が教授以外の場合、記名押印をお願いします

所属上長名：山田 太郎 ⑩ 所属・職位：皮膚科学 教授

※助成金管理者は、同じ所属の教育職員であれば、所属上長と同一人物でなくても構いません

本申請内容を承認し、上記の申請者の助成金使用・管理を認めます。

※助成金は、助成金管理者名のプロジェクトコードで付与されます

助成金管理者名：田中 次郎 ⑩ 所属・職位：皮膚科学 講師

研究課題名(倫理及び動物実験審査承認番号)：

研究期間：例 2025 年 11 月から 2027 年 11 月 ※原則として 2 年を目途とします

研究の背景・目的：

研究内容及び実施計画：

予測される成果とその意義：

申請者の業績 (過去 3 年間の論文 5 つまで記載)

助成金申請・受給状況：2024 年以降、申請者が学外・学内において申請中及び支給を受けている助成金のタイトルと金額
※今回の申請と類似する研究内容で、既に科研費・助成金を受給している場合は、その違いを明確に記載したものを、申請書とは別に(書式自由)PDF データで提出ください

杏林医学会への貢献度：該当するものについて、()の中に詳細を記入ください。

- ①杏林医学会総会一般口演発表(研究発表は除く) (例 第●回総会一般演題発表 等)
- ②杏林医学会雑誌 投稿論文掲載 (例 ●巻●号原著論文掲載 等)
- ③杏林医学会雑誌 投稿論文査読 (例 担当経験あり 等) ※詳細は事務局で確認いたします
- ④杏林医学会雑誌 特集企画執筆 (例 ●巻●号掲載、テーマ 等)
- ⑤杏林医学会主催市民向け講演会 座長・演者 (例 第●回市民公開フォーラム座長、講演テーマ 等)

交付申請額 (研究費内訳)

備品費	100,000 円	例 解析用 PC 及び周辺機器購入 等
消耗品	200,000 円	例 試薬等購入 等
人件費・謝金	0 円	例 データベース管理者雇用 (1500 円/時間) 等
旅費	0 円	例 第●回 ●●学会参加費・旅費 等
通信費	0 円	例 郵送料 等
その他	0 円	具体的な用途を記入ください
交付申請額合計	300,000 円	

※ 必要に応じて項目枠を拡張し、両面印刷 2 枚以内を目途に作成してください。

【C.研究活動指導助成金】応募申請書

記入例: 申請者が教育職員の場合

申請者：杏林 花子 ㊟ 西暦 1985 年 10 月 15 日生 (38 歳) 所属：医学部消化器内科学	職位：講師 連絡先内線・PHS：5555 Email アドレス：aaaa@ks.kyorin-u.ac.jp	
本申請内容を承認します。※申請者が教授以外の場合、記名押印をお願いします 所属上長名：山田 太郎 ㊟ 所属・職位：皮膚科学 教授		
指導対象者：対象者が学部学生の場合は学年と氏名、大学又は病院に勤務する研究職・医師・メディカルスタッフの場合は職種・氏名を記載ください。助成金を学会旅費・参加費等で使用する場合、本欄に名前がある方に使用が限定されます。 記載例：佐藤二郎（医学部4年生）田中三郎（付属病院放射線部）等		
研究指導期間：例 2025 年 11 月から 2026 年 11 月 ※原則として 1 年を目途とします		
指導する研究内容及び実施計画： 研究指導タイトル：●●●●●●		
予測される成果とその意義：		
過去に教室・学科等で行った指導内容例・実績： 学会発表、論文掲載、教室の自由参加プログラム等 具体的に記載ください		
助成金申請・受給状況：2024 年以降、申請者が学外・学内において申請中及び支給を受けている助成金のタイトルと金額		
杏林医学会への貢献度：該当するものについて、()の中に詳細を記入ください。 ①杏林医学会総会一般口演発表(研究発表は除く) (例 第●回総会一般演題発表 等) ②杏林医学会雑誌 投稿論文掲載 (例 ●巻●号原著論文掲載 等) ③杏林医学会雑誌 投稿論文査読 (例 担当経験あり 等) ※詳細は事務局で確認いたします ④杏林医学会雑誌 特集企画執筆 (例 ●巻●号掲載、テーマ 等) ⑤杏林医学会主催市民向け講演会 座長・演者 (例 第●回市民公開フォーラム座長、講演テーマ 等)		
交付申請額 (研究費内訳)		
備品費	0 円	例 解析用 PC 及び周辺機器購入 等
消耗品	70,000 円	例 試薬等購入 等
人件費・謝金	0 円	例 データベース管理者雇用 (1500 円/時間) 等
旅費	30,000 円	例 第●回 ●●学会参加費・旅費 等
通信費	0 円	例 郵送料 等
その他	0 円	具体的な用途を記入ください
交付申請額合計	100,000 円	

※ 必要に応じて項目枠を拡張し、両面印刷 2 枚以内を目途に作成してください。

【C.研究活動指導助成金】応募申請書

記入例: 申請者が教育職員でない場合

申請者：杏林 花子 ㊞ 西暦 1985 年 10 月 15 日生 (38 歳) 所属：医学部消化器内科学	職位：講師 連絡先内線・PHS：5555 Email アドレス：aaaa@ks.kyorin-u.ac.jp
--	--

本申請内容を承認します。※申請者が教授以外の場合、記名押印をお願いします

所属上長名：山田 太郎 ㊞ 所属・職位：消化器内科学 教授

※助成金管理者は、同じ所属の教育職員であれば、所属上長と同一人物でなくても構いません

本申請内容を承認し、上記の申請者の助成金使用・管理を認めます。

※助成金は、助成金管理者名のプロジェクトコードで付与されます

助成金管理者名：田中 次郎 ㊞ 所属・職位：消化器内科学 講師

指導対象者：対象者が学部学生の場合は学年と氏名、大学又は病院に勤務する研究職・医師・メディカルスタッフの場合は職種・氏名を記載ください。助成金を学会旅費・参加費等で使用する場合、本欄に名前がある方に使用が限定されます。

記載例：佐藤二郎（医学部4年生）田中三郎（付属病院放射線部）等

研究指導期間：

記載例：2025年11月から2026年11月 ※原則として1年を目途とします

指導する研究内容及び実施計画：

研究指導タイトル：●●●●●●

予測される成果とその意義：

過去に教室・学科等で行った指導内容例・実績：

学会発表、論文掲載、教室の自由参加プログラム等 具体的に記載ください

助成金申請・受給状況：2024年以降、申請者が学外・学内において申請中及び支給を受けている助成金のタイトルと金額
※今回の申請と類似する研究内容で、既に科研費・助成金を受給している場合は、その違いを明確に記載したものを、申請書とは別に(書式自由)PDFデータで提出ください

杏林医学会への貢献度：該当するものについて、()の中に詳細を記入ください。

- ①杏林医学会総会一般口演発表(研究発表は除く) (例 第●回総会一般演題発表 等)
- ②杏林医学会雑誌 投稿論文掲載 (例 ●巻●号原著論文掲載 等)
- ③杏林医学会雑誌 投稿論文査読 (例 担当経験あり 等) ※詳細は事務局で確認いたします
- ④杏林医学会雑誌 特集企画執筆 (例 ●巻●号掲載、テーマ 等)
- ⑤杏林医学会主催市民向け講演会 座長・演者 (例 第●回市民公開フォーラム座長、講演テーマ 等)

交付申請額 (研究費内訳)

備品費	0 円	例 解析用 PC 及び周辺機器購入 等
消耗品	70,000 円	例 試薬等購入 等
人件費・謝金	0 円	例 データベース管理者雇用 (1500 円/時間) 等
旅費	30,000 円	例 第●回 ●●学会参加費・旅費 等
通信費	0 円	例 郵送料 等
その他	0 円	具体的な用途を記入ください
交付申請額合計	100,000 円	

※ 必要に応じて項目枠を拡張し、両面印刷 2 枚以内を目途に作成してください。